

樹木再生プロジェクト（さいプロ）

取組主体: さとうみプロジェクト(せんなん里海公園指定管理者)

場所: 大阪府営せんなん里海公園(大阪府泉南郡岬町)

せんなん里海公園は、大阪府最南端の岬町、大阪湾に面した海辺に位置しており、潮風や強風の影響を強く受けるため、樹木の倒木や幹折れ、枝折れの被害が発生しやすい過酷な環境下にあります。また、毎年実施する危険木調査からは、病害虫の発生などによる樹木の立ち枯れ、幹内の腐食や空洞化などが確認されています。こうしたいわゆる危険木は、年間で10~20本程度あり、その処置や対処が、園内の植物管理における課題となっています。このような場合、たいていは安全性、景観面の観点から、危険木は伐採、撤去されてしまいます。しかし私たちは、生命ある樹木への愛護、現存する風景の継承への思いから、危険木を伐採、撤去するのではなく、生きている健全な部分を積極的に活かし、樹木を再生する取組を進めています。

危険木の中には、後々新芽が芽吹いたり、根元からヒコバエが発生するものがあります。私たちは、再生する可能性のある樹木を見極めて残し、大切に見守りながら、新芽が踏まれることのないよう囲いで保護したり、将来主幹となるヒコバエを残すよう剪定するなど、指定期間を超えた長期的な視点に立って、樹木と対話しながら、元の樹木へと再生、成長させる取組を行っています。

この樹木再生プロジェクトは、前期指定期間(2013-2017)中の2015年度からスタート。前期に続いて今期(2018-2022)の指定管理者に選ばれたことから、本プロジェクトに継続して取り組み、その数は通算で10本以上となっています。



危険木の調査点検を毎年度実施

マテバシイの例



上部が枯れている。2015年6月



上部を伐採。幹が腐食し空洞化している。



残す枝を見極め剪定。2018年6月



順調に成長。2018年10月

アメリカデイゴの例



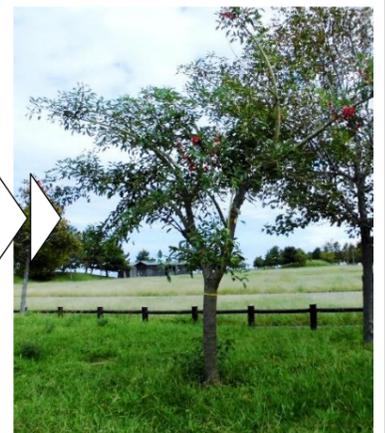
台風により倒木。2014年10月



根株から新芽が出てきたため保護。2015年5月



剪定を実施。2016年11月



順調に成長。2018年10月